

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	食品開発科学科		
科目名称	韓国語					授業形態		講義	
科目コード	142400	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブ ラーニング	
担当教員名	韓 壽燕								ICT活 用
授業概要	この授業では韓国語の発音と文字をはじめ、あいさつや基本的な会話を学びます。期末までに韓国語で自己紹介のスピーチができることを目指します。 韓国語を学んでいく過程を通じ、ことばのみならず人々の生活や文化にも興味を持ち積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿勢とスキルを身につけることを目的としています。 この授業での経験が異文化・他言語を持つ他人への関心と理解を高め、コミュニケーション力向上につながる事を期待します。								
関連する科目									
授業の進め方 と方法	この授業では、ペアワークやグループワーク、発表などを通して積極的に声を出しコミュニケーションにつなげ「知る」だけではなく「使える」ようにしていきます。 前半ではまず韓国語の発音と固有の文字ハングルを学びます。自分の名前などがハングルで書け、ハングル表記の商品名、標識などが読めるようになります。 韓国語は日本語に比べはるかに発音の数が多くそれが学習において一番難しく感じやすいところですが、ハングルが韓国語の発音記号のような役割を担うためハングルが分かると発音も楽に学べます。 後半ではクラスで実際にあいさつを交わしたり、簡単な文で自分や家族、住んでいるところについて表現したり、短い質問を交わしたりする練習を積み上げていきます。 最終的には、習ったあいさつや表現を駆使して簡単な自己紹介のスピーチができるようにします。								
授業計画 【第1回】	【オリエンテーション】 内容：授業概要・韓国語の特徴 【第1課】あいさつはいつでもアンニョンハセヨ 内容：基本のあいさつ ～さん、はい 方法：講義・ペアワーク・グループワーク								
授業計画 【第2回】	【第2課】母音を学ぼう 内容：あいさつを交わそう ハングルの仕組み ハングルで「あ・い・う・え・お」 基本母音字10 方法：講義・ペアワーク・発表（名前紹介）								
授業計画 【第3回】	【第3課】子音を学ぼう① 内容：基本の母音字復習 基本の子音字9（有声音化に注意） 名前を書いてみよう 方法：講義・ペアワーク 課題：練習問題、宿題3								
授業計画 【第4回】	【第4課】子音を学ぼう② 内容：基本の子音字復習 その他の子音字10（激音5・濃音5） 方法：講義・ペアワーク 課題：練習問題、宿題4								
授業計画 【第5回】	【第5課】合体する母音を学ぼう 内容：激音・濃音の復習 基本の母音確認 複合母音字11 方法：講義・ペアワーク 課題：練習問題、宿題5								
授業計画 【第6回】	【第6課】パッチムを学ぼう 内容：子音で終わる音 発音の変化 方法：講義・ペアワーク・グループワーク 課題：練習問題、宿題6								
授業計画 【第7回】	【文字と発音まとめ】 韓国語の発音とハングル文字まとめ/日本語のハングル表記/基本のあいさつ 内容：〈筆記テスト〉韓国語の発音と文字に関する基本的な知識、基本のあいさつ（聞き取りを含む） 〈口頭テスト〉ハングル単語カード読み 方法：試験 課題：第1課単語予習								
授業計画 【第8回】	【第7課】私はゆかりです 内容：～は／～です（名詞文） 家族呼称 方法：講義・ペアワーク 課題：練習問題、宿題7								
授業計画 【第9回】	【第8課】今日時間ありますか 内容：～が／あります・ありません（存在詞文） 方法：講義・グループワーク 課題：練習問題、宿題8								
授業計画 【第10回】	【第9課】どうやって勉強していますか 内容：～を／します（する動詞文） ～しません・～くありません（動詞・形容詞の否定文①） 方法：講義・ペアワーク 課題：練習問題、宿題9								

授業計画 【第11回】	【第10課】いくらですか 内容：（漢数詞・こそあど言葉） 値段を聞き取る 誕生日を聞き合う 方法：講義・ペアワーク 課題：練習問題、宿題10
授業計画 【第12回】	【第11課】何をよく食べますか 内容：～です・～ます（動詞・形容詞の丁寧形①） 方法：講義・ペアワーク 課題：練習問題、宿題11
授業計画 【第13回】	【第12課】ちょっと待ってください 内容：～です・～ます（動詞・形容詞の丁寧形②） 不可能 方法：講義・ペアワーク 課題：練習問題、宿題12
授業計画 【第14回】	【第13課】19歳です 内容：（固有数詞） 歳・時間などを聞き合う 方法：講義・ペアワーク 課題：練習問題、宿題13
授業計画 【第15回】	【第14課】もっと勉強したいです 内容：～したい ～しません・～くありません（動詞・形容詞の否定文②） 方法：講義・ペアワーク 課題：宿題14、自己紹介スピーチ練習
授業の到達目標	①韓国語の発音と文字を覚え、看板・メニューなどハングルで書いてあるものが読める ②自分の名前や日本の地名などの固有名詞がハングルで書ける ③韓国語の基本的なあいさつを交わすことができる ④韓国語で自分や家族のことについて簡単な質問に答えられる。 ⑤モデル会話の背景にある韓国文化や韓国事情を知り、自ら興味を持つようになる。 ⑥韓国語で簡単な自己紹介ができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	テキストや資料に沿って単語を重心に予習する。声に出して練習することを心がける(週30分程度)
授業時間外学習【復習】	テキストの会話と練習問題、出された課題で自習する。(週30分程度) 韓国の歴史・文化に関心を持ち、情報を収集し知識を深める。(週30分程度)
課題に対する フィードバック	毎回課題が出されます。 課題は次の授業までに提出、返却されたらチェックされているところを見直して訂正しておきましょう。（質問があったら余白などに書いて提出） 期末に訂正が済んだ課題をまとめて提出してもらいます。（平常点として成績に反映されます）
評価方法・基準	<授業への参加度・課題>40% 活動の積極的な参加14% / 課題(13回分) 26% <中間試験>30% ①筆記試験20% ②口頭試験(単語カード読み) 10% <期末試験>20%
テキスト	『基礎から学ぶ韓国語講座 入門』木内明（2019）国書刊行会 ISBN: 978-4-336-06557-5
参考書	使用しない
備考	※外国語の学習は積み重ねが肝心です。欠席しないよう心かけ、授業中の活動や課題などに積極的に取り組みましょう